

令和7年6月27日

大阪・関西万博会場で「関西地域 12 ブランド」を PR します！ ～新しく三輪素麺のハンズオン支援を開始します！～

近畿経済産業局は、8月17日(日)に、大阪・関西万博会場内「フェスティバルステーション」において、当局が令和2年から支援を進めてきた関西地域 12 ブランドの魅力を伝えるイベント～【守・破・離】関西の伝統工芸等の未来への飛翔～を実施します。

加えて今回新たにハンズオン支援を開始する奈良県の三輪素麺のPRも実施します。

当日は様々な企画を用意して、地域の今を、そして未来を発信します。



【参考】
近畿局の支援モデル
となる 12 の地域ブランド

※ご参考:12 の地域ブランドの紹介動画(3 分間)

<https://www.youtube.com/watch?v=8S7P9YmLYBw>



1. 具体的な取組

近畿経済産業局が支援する「関西地域12ブランド」及び、今回新たにハンズオン支援を開始することになった奈良県三輪素麺販売協議会、奈良県三輪素麺工業協同組合を一堂に集め、商品の展示やステージ上でのイベント、体験ワークショップなど、様々な角度から楽しめる企画を行います。

・日時: 令和7年8月17日(日)11時30分～19時(時間は予定)

・場所: 大阪・関西万博会場内 フェスティバルステーション

・参加予定の地域ブランド:

鯖江のめがね(福井県)、信楽焼(滋賀県)、丹後織物(京都府)、和束茶(京都府)、泉州タオル(大阪府)、播州織(兵庫県)、三木の酒米等(兵庫県)、丹波篠山の黒大豆等(兵庫県)、淡路島の食と香り(兵庫県)、奈良酒(奈良県)、広陵くつした(奈良県)、和歌山ニット(和歌山県、紹介のみ)、三輪素麺(奈良県)

2. 背景と課題

近畿経済産業局では、衣食住の豊かな資源と歴史のなかで培われた上質な文化経済圏を持つ関西地域において、大阪・関西万博を見据え「関西地域12ブランド」の稼ぐ力の維持向上を目指して、令和2年度から事業を展開してきました。

強い関西を生み出していくためには、第2、第3の地域ブランドの育成が必要であることから、このたび、潜在的な魅力を有しつつもブランディングに課題を抱える地域ブランド「三輪素麺(奈良県)」を選定しました。



これまで支援をした「関西地域12ブランド」と共に、万博会場でPRを行うことにより、これまでの集大成として、今までの歩みや今後の飛翔を打ち出すとともに、他地域へノウハウを伝える機会として、一堂に会して参加するものです。

3. 今後の展開

今回のテーマは「守・破・離」。これは地域ブランドとしての伝統を「守り」つつ、新たな発想によって既存の形を打ち「破る」力。そして、それらを万博会場で表現するこ

とにより目を「離せ」ないイベントとしたいとの思いから名付けました。

地域ブランドが、万博会場内で様々な方々との出会い、新たなイノベーションを生み出し、新たなアプローチを発見することで生まれる製品が、今後の地域ブランドの自走化や海外販路開拓の一助となることを目指します。

新たなハンズオン支援先には、万博出展後もさらに地域の課題を洗い出し、今後の更なるブランド構築に向けたアクションプランの策定を行い、長期目線での地域ブランドの自走化に向けた支援を行います。

(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 国際部 国際事業課

地域ブランド展開支援室長 有馬

担当者:磯貝、谷本

電 話:06-6966-6054

